

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 新居浜市立西中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他（ ）

所在地 〒792-0005
愛媛県新居浜市江口町7番1号

E-mail niiwj-ad@esnet.ed.jp

Website http://niihama-nishi-j.esnet.ed.jp/cms/

児童生徒数 男子 146名 女子 126名 合計 272名
児童・生徒の年齢 13歳～15歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか（ふるさと学習）

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

平成27年度ESD活動報告

新居浜市立西中学校

1 テーマ（主題）
「地域を知り、人とつながり、未来を拓こう」

2 主な活動内容について

(1) 活動の概要

本校では、「総合的な学習の時間」や「学活」を利用して、ESD教育の取組としてアふるさと学習イ人権学習ウあいさつ運動 エ ボランティア活動の4つに視点において活動した。私たちの町「新居浜市」をより深く知り、地域を大切に思い、私たちの町の未来を見つめ直し、よりよい町づくりを考えていくことを目指して取り組んできた。そのために、第1学年で「別子銅山」についての学習をして、先人の取組から今後の町づくりについて考え、第2学年で、実際に地域の中に入り、具体的な体験を通して今後の自分自身の将来を見つめて、第3学年で現在の環境・人権・福祉の分野から地域の中で何ができ、どのように行動するかを考えることで、自分や地域の将来を持続発展的に考えていくような取組を行った。

(2) 実践内容

ア ふるさと学習

「別子銅山」についての学習を1年次の「総合的な学習の時間」を使い行っている。校区に残る産業遺産群の見学のみならず、自然の家の宿泊体験学習と関連させ、旧別子地区へも足をのぼし、体験を通して学びを深めている。その中で、「伊庭貞剛」をはじめとする先人の環境問題への取組についても学んでいる。その学びの成果は、学校全体のエコ活動などの取組につながっている。



イ 人権学習

本校の特色ある取組として、総合的な学習の時間で、3年生の人権班が中心になって、人権劇を行った。生徒会の人権委員会の活動の一つで、3年の人権班が台本と演出を考え、全校の人権委員が劇の運営に関わった。今年度は、「人と人との間」という題で人権劇を行い、その後、ファシリテーターとして講師を招き、いじめについて、生徒たちが意見交換をした。



また、校内合唱コンクールで、3年生の課題曲「夏」にちなんで、愛媛県原爆被害者の会の方を招き、平和について考えた。生徒たちの活発な意見や自分の思いをみんなの前で発表することができた。

ウ あいさつ運動

本校では、新居浜市内の取組としての「あいさつ日本一」の運動を大きな声で行っている。毎朝、生徒会役員と級長が正門に立ち、登校生徒に「おはようございます」のあいさつを積極的に行っている。本校の「日本一プロジェクト」の1つであり、様々な分野で、日本一になれるように頑張ることが大切であると考え、今年度みんな呼び掛け合っ



て、この活動を推進した。生徒たちは、大きな声で、気持ち良いあいさつをしようという姿が見られるようになった。今後も継続して進めていきたいと考え

ている。

エ ボランティア活動

朝の会の前に、有志を募り、奉仕活動を行っている。主に校内の美化作業を行っている。また、夏休み中の PTA 奉仕作業でも、多くの生徒が、奉仕作業へ参加し、時間一杯積極的に活動した。



3 成果と課題

本年度の ESD の活動として、4 つ活動を中心に行ってきた。今年度の活動の中で、年間計画を見直し、3 学期には、新しい年間計画を作成する予定である。今年度の取組を振り返ると、全体的に生徒たちが主体的に活動できていたように思われる。

ふるさと学習では、1 年生が銅山の里自然の家に宿泊し、別子銅山について学び、先人たちの功績を知り、わが町新居浜の環境問題について考える良いきっかけになった。今後、先人たちの取組を通して、自分自身がどのように行動していくかを、2、3 年で深めていきたい。

人権学習では、同和問題をはじめとする様々な人権問題について目を向け、各学年の人権・同和教育年間指導計画のもとに、学習を積み上げてきた。それに加え、生徒会と 3 年総合的な学習の時間人権班が中心となり、人権集会で人権劇を行った。今後、人権劇の内容について、さらに深化を図りたいと考えている。

あいさつ運動の推進については、生徒会を中心に行ってきた。毎朝正門に立ち、みんなにあいさつをして、様々な人間関係をより良いものにしていくきっかけにしていきたいと考えている。以前より、あいさつの大切さを認識する生徒は増えてきた。今後も継続していきたいと考えている。

ボランティア活動については、毎日の清掃や校内奉仕作業から、自主的な活動の大切さを考えさせ、私たちの学校、地域でより良い町づくりをみんなで進めていこうとする意識を育てたいと考えている。様々なボランティア活動では、一生懸命活動する生徒も多くなってきた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（ ）